

# うね日和 2020新春号



地域の出来事やイベント情報をおとどけ

## 新年のご挨拶



大正期の互尊文庫

## 年頭に当たって ～互尊独尊！～

令和最初の年、みなさんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

さて、年末、東京で開催された「障がい者 就労支援フォーラム」に参加、丸2日間千五百人もの参加者での充実したフォーラムの最後のパネルディスカッションで、これから何か大切な何か？との質問に、それぞれのパネラーから「多様性」「かけもち」「一人複数」「独立自尊」「自立と共生」そして「互助」というキーワードが発せられました。正に長岡の図書館「互尊文庫」を作った野村恭八郎（互尊翁）が残した「互尊独尊」であると合点しました。

これまでは人口増、所得増を背景に、公が社会制度をつくり、みんな一緒に豊かになった時代でした。これからは、人口減、少子高齢化の中、公の制度が立ちゆかなくなり市民の自立と、地域で暮らす隣同志仲良くして、お互い助け合っていく社会への移行を示唆するような結びとなりました。

公の制度が充実していれば、所謂 無縁社会でも生きることが出来ましたが、借金だらけの公となってしまったこれからはそうは行きません、自らのことは自ら守り、公に期待することなく隣同士で支え合う、これまで以上に地域コミュニティが大切な時代になると感じています。

地域コミュニティが脆弱化し、無縁社会化した大都市は一度大きな災害に見舞われれば、建物同様、地域社会も崩壊し、公助なくして生き伸びることは出来ないと言うことを都市住民は理解し始めています。

一方、地方では伝統、習慣を守るべく、お祭りや共同作業が続けられ、人は少なくなりましたが、互助、共助の仕組みがまだ残っているので、何かあってもまだ安心して暮らすことは可能です。

令和の時代、自動運転の車の普及と共に、間もなくすると大都市から地方への人口移動が始まるのでは？と予感しています。

それまで今在る地域のコミュニティ、伝統、習慣、そして豊かな自然を絶やすことなく次世代にバトンタッチする手伝いをするのが「NPO UNE」の役割と考えます。

UNEHAUSが、みなさん一緒に活動し暮らし、みんなの意思疎通の場として活用され、そこに集う人同志で、共に支え合う仕組みを作り、実践し、情報発信する場として令和 society で発展していくため、これからも、みなさんのご協力、ご支援よろしくお願ひいたします。

特定非営利活動法人UNE 代表理事 家老 洋

### 地域活動支援センターUNEHAUS・年末年始、1月のお休みについて

地域活動支援センターUNEHAUSと特定非営利活動法人UNEは2019年12月28日（土）～2020年1月6日（月）までお休みとなります。新年は1月7日（火）より開所、活動を始めます。なお、2月19日、20日は研修の為閉所となりますので、予めご了承ください。

# 1月のイベント情報



お申込み、お問い合わせはウネまでお電話（平日9時～16時、0258-86-8121）か、メール（une\_aze@yahoo.co.jp）FAX（0258-86-8131）でおねがいします。

## ○ランチミーティング○

毎月第3金曜日に開催している長岡市在住の外国人の方と一緒に食事をし、交流を行うランチミーティングを1月は下記で行います。皆で美味しいうねご飯を食べながら国際交流を行いましょ！外国語が話せなくても自動翻訳機が有るので大丈夫です！

○日時：1月17日（金）12：15から

○場所：ウネハウス（一之貝869）

○会費：600円（国際交流広場から送迎無料あります。送迎の定員は7名）

## ウネからのお知らせ

### 立命館大学の学生がインターンにやってきます！

2019年夏にウネで活動した滋賀県草津市にある立命館大学経済学部で公務員志望のゼミ生5名が冬期の休みを利用してインターン活動に来ます。

2020年1月31日から2月2日までと期間は短いですが、地域の現状や課題を知り、実感したいという気持ちから夏のインターン終了時に冬の活動を申し出てくれました。

夏のインターンとしての活動は、一之貝の棚田の水路掃除や、よもぎの作業、千秋での畑の作業等の農作業の他、地域の方からお越し頂きお話をさせていただいたり、栃尾支所にあいさつ回りに行ったりと様々な活動を荷頃地区で行って行きました。

冬の具体的な活動は雪下ろしや除雪等をしてもらい、それらの活動を通して地域課題を実感してもらい、彼らの将来の糧にしてもらえたらと思います。

1月31日には歓迎の餅つき大会と雪上大相撲一之貝場所を開催する予定にしています。是非交流してみたいという方はお気軽にウネまでお問い合わせ下さい。



←水路管理をする学生



←栃尾支所への訪問

## 先月の活動報告

### 近藤龍良先生を招いて農福連携の講義を行いました。

12月6日に園芸福祉普及協会副会長、近藤龍良先生から

「アグリジョブトレーナー制度」についての考え方、そして全国の取り組みについて講義して貰いました。

農福連携は、農業は福祉分野で活動している人にとって、そして福祉は農業分野で活動している人にとって、未知なものであり、分からないことが多く、障がい者の農家派遣、そして農家が受入で大きな課題となっていますが、それを上手くコーディネートするのがトレーナーの役割で、そのトレーナーを育成する講座を三重県名張市で実施されているとの報告がありました。

雇用に関しては最低賃金がついて回りますが、農業所得と最低賃金者の年間所得が均衡している現状、なかなか農家が障がい者を受け入れて働いて貰うことは課題山積です。

12月5日に新潟で開催されたシンポジウムで報告のあったように、障がい者の派遣事業を構築することで、農家そして福祉分野において障がい者の働く場所を創設することは可能であり、その引率者として、今後アグリジョブトレーナーが活躍することが期待されているという内容でした。今回の講義を参考に協議会、ウネも農福連携を推進していきたいと思えます。

↑ウネハウスで行われた講義





## 日本財団主催の就労支援フォーラム2019に参加してきました！

12月14日、15日の2日間と東京新宿で1,500人の福祉関係者が参加して障がい者の「就労支援フォーラムNIPPON 2019」が開催され、UNE、北荷頃一之貝軽井沢集落連携促進協議会から3名で参加してきました。

初日は、オープニング全体会、パネルディスカッション、夜はポスターセッション、2日目は分科会とパネルディスカッション、そしてシンポジウムと、2日間「障がい者の就労支援」で頭がパンパンになりました。

ウネも参加した初日夜のポスターセッションは、ポスターを使い15分ほどの活動を皆さんに説明する事が出来る時間で、事前に地域の方にも発表を聞いて頂くなど、準備万端で臨みましたが、自分たちが想定していたようには行かず、少し物足りないセッションになってしまいました。そんな中でもウネに興味を持ってくださった方々には十分お話が出来た事は良かったと思います。

2日間、様々なお話を伺った中でウネも取り組んでいる「農福連携」や伝統と福祉を連携させる「伝福連携」、ITやデザイン等の仕事おこしにも取り組んでいる全国の事例を聞き、福祉の形が変わり、障がい者の方の働き方の多様性が進んでいる事や、福祉であっても生産性や付加価値を高め、「稼ぐ福祉」を実践している事業所が沢山有る事を実感してきました。

全国各地から福祉関係の方々が来た中で、事業所と行政協働等の先進的な事例も多く聞く事が出来、これを参考に長岡市や栃尾支所と話し合い事でよりよい活動につなげられると深く感じました。

2日間のフォーラムは、大変勉強になったと共に、多くの方々と名刺交換が出来、今後の交流も期待できる充実したフォーラムでした。



↑村木前厚生労働事務次官の講演



↑1,500人の参加者



↑ポスターセッションでUNEをアピール

### 編集者挨拶

今年も一年、「うね日和」をご愛読いただきありがとうございました。今年も皆様に、UNEの活動に興味を持っていただけるよう心掛け、紙面づくりを行ってまいりました。お陰様でUNEの事業も様々な広がりをしております。そういった取り組みを皆様に分かりやすくお知らせできるようこれからも取り組んでまいります。誤表記等も沢山あり、ご迷惑をおかけしたかとは思いますが、来年も特定非営利活動法人UNE並びに「うね日和」をどうぞよろしくお願いいたします。



↑磯田市長と地域の方々

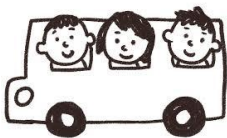
### 今月の送迎サービス予定

・ 買い物送迎サービス<原信・ユメリ等>1月9日、23日(木)

・ 温泉送迎サービス<おいらこの湯>1月14日(火)

13:10 軽井沢集落開発センター→13:15 ウネハウス→13:20 荷頃地区センター  
帰還は15:30頃です。

・ 病院送迎サービス:希望時間に送迎します。(8:00~16:00)



無料でGO!

◇ご利用希望の方は前日までにウネにご予約ください。  
◇病院送迎はサービス会員対象となり、会員は随時募集しています。  
どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。